

充実の教育プログラムでキャリア開発

立川相互病院看護部では、一人ひとりが意識的にキャリア開発することで、看護の質の向上を図り、目標を持って働き続けられることを目的に、クリニカルリーダー制度を導入しています。教育の大きな目的は、患者様の生活と労働を全人的にとらえ、患者様の立場に立った看護を実践し、専門職として社会に責務が果たせる看護師を育成することにあります。

教育目標

- ①安全、安心の看護ができる
- ②保健医療チームにおけるチームワークの重要性を認識し、良好なコミュニケーションが図れる
- ③患者様の立場に立った看護観を深める
- ④社会、医療制度を学び、看護及び医療の果たすべき役割を認識しつつ、社会に貢献する
- ⑤自己啓発をすすめる



III 卒後5～6年目

目標

- チームリーダーとしてリーダーシップが発揮できる

到達項目

- 【看護実践】
- 地域に暮らす患者様の退院時マネジメントができる

【役割・責務】

- カンファレンスの企画・運営ができる

【教育】

- 看護に対する自己の課題と目標達成に向け、計画的に学習できる



第31回看護研究発表会ポスターセッションの様子

II 卒後3～4年目

目標

- 患者様の個別性に応じた看護が提供できる
- 地域で暮らす患者様の生活を考慮した医療、福祉の連携がとれる
- 新人看護職員を指導することができる

到達項目

- 【看護実践】
- 看護診断をカンファレンスで提案し、個性に応じた具体策を出すことができる

【役割・責務】

- 共同組織（三多摩健康友の会）班会に主体的に参加する

【研究】

- 職場の看護研究活動に参加できる
- 事例をまとめる
テーマ「患者様の立場に立つ看護」「医療連携」

I 卒後1～2年目

目標

- マニュアルや指導を受けながら安全安心な看護が実践できる
- 患者様を生活と労働の場からとらえるため、退院後訪問し事例をまとめることができる

到達項目

- 【看護実践】
- 「患者様を生活と労働の場からとらえる」看護観を知っている

【研究】

- 「患者様の病態を科学的にとらえた」事例をまとめることができる

IV 卒後7年目～

【臨床分野】

目標

- 創意工夫した看護実践ができる

到達項目

- 【役割・責務】
- カンファレンスで意見を調整し解決に導くことができる

【専門分野】

目標

- 専門領域において適切にコンサルテーションできる
- 創意工夫した看護実践ができる

到達項目

- 【役割・責務】
- 看護サービスの向上を図るためリーダーシップを発揮することができる

- さまざまな研修（ケアマネージャー研修、看護研究研修、他には看護協会の研修や企業のセミナー）などへの参加を積極的にサポート
- テーマ別研修「認知症看護」「栄養サポート」「地域連携」「急性期医療」から選択し、日常の看護実践を研究・発表する
- 専門分野支援制度あり

中途入職も安心

不安を自信に変えていきます

既卒教育プログラム

- 入職時看護技術の到達度を把握
- クリニカルリーダーのレベルを決定
- プリセプターと一緒に研修開始
- その人に合わせたプログラム

